

住みよい安全なまちづくりをめざして

第27回防犯と交通安全の住民集会

2月14日、町防犯協会佐藤進会長代理)と町交通安全協会(渡邊龍幸会長)の主催による、第27回南富良野町防犯と交通安全の住民集会」が総合福祉センターで開催されました。

この集会は、昭和52年から犯罪や事件、交通事故のない明るい地域をつくるため、自主的な住民運動の一環として毎年開催されているものです。

今回は、「北海道交通事故被害者の会」の長瀬初美さんによる交通事故被害者体験談



「悲劇を繰り返してほしくない」と訴えた交通事故被害者体験談

体験が行われ、5年前の事故で一度に両親を亡くし、悲しみと加害者に対する率直な胸の内を語り、「決して悲しい事故起こさないでほしい」と訴えました。

続く全体集会では、主催者を代表して町交通安全協会の渡邊会長から、少年犯罪が激増する今、子ども達の健全育成の重要性を認識し、犯罪や交通事故のない地域社会を目指したい」と挨拶されました。

この後、町内小中学校の児童生徒から募集した防犯



優秀作品の発表(防犯作文・中学生の部)

と交通安全の標語・ポスター・作文の表彰と、4人の児童生徒による作文の優秀作品の発表が行われました。

午後からは、HTBテレビのコメントーターで解説委員の小野塚 勝さんによる「テレビの向こうに見えるこの国の形」と題した特別講演が行われ、刑法改正、イラク復興支援と平和憲法、安全保障と食料問題など幅広いテーマから問題点を取り上げ、「北海道は恵まれた環境資源を活かし、地産地消のシステムづくりとス



優秀作品の発表(交通安全作文・小学生の部)

ローフードの普及を」と講演を締めくくり、集会は終了しました。

なお、町内小中学生からの応募作品は、防犯の部に標語134点、作文10点、ポスター55点が、また交通安全の部に標語142点、作文32点、ポスター59点で、合わせて432点の作品が寄せられました。

審査の結果、各部門の優秀賞に輝いた皆さんは次のとおりです。

防犯の部

標語の部

小学校 笹木 晶仁(幾小6)

中学校 小野寺 鍊(金中3)

作文の部

小学校 津田 昌典(下小6)

中学校 松本真璃雅(金中2)



「日本の国の基本ルールは平和憲法」と語る講師の小野塚 勝さん

交通安全の部

ポスターの部

小学校 菊地 未来(落小4)

中学校 鈴木百合子(金中3)

標語の部

小学校 杉山 美里(金小3)

中学校 鹿野 晃弘(金中2)

作文の部

小学校 松浦 健恒(下小4)

中学校 松本あずさ(金中1)

ポスターの部

小学校 佐藤 和輝(落小6)

中学校 松本真璃雅(金中2)



福祉センターロビーに展示された入選作品